

会 派 活 動 報 告 書

令和 6 年 4 月 2 2 日

岡谷市議会議長

今 井 康 善 殿

会 派 名 無会派

代表者名 酒井和彦

令和 5 年度における岡谷市議会 会派「無会派」の活動について、下記のとおり報告いたします。

活 動 項 目	活 動 内 容 及 び 活 動 の 実 績 と 効 果
調 査 研 究	○活動内容 新聞は市民新聞としんぶん赤旗(日刊および日曜版)を購読。書籍は以下のものを購入し、知識・見分を深めた。 1. 自治体職員のためのようこそ地方自治法[第3版](板垣 勝彦 著) 2. 自治体議員が知っておくべき政策財務の基礎知識—予算・決算・監査を政策サイクルでとらえて財政にコミットできる議員になる—(江藤 俊昭 著) 3. 性教育バッシングと統一協会の罠(浅井 春夫 著) 4. 校則に言いたい! 中高生・親・教師 3000 人の声(日本共産党@校則問題プロジェクトチーム 編) 5. 写真が語る 諏訪の 100 年(高林千幸 監修) ○活動の実績と効果 新聞記事により一般質問や意見書案の作成の材料を得た。 地方自治法については基本的なことは押さえられたと思うが、政策財務については自分にはやや難解であり引き続きの学習が必要と感じた。性教育や校則についてはまだ自身による実績はないが、岡谷市の実情を調査し比較して今後の政策(一般質問)に生かしたいと考えている。
研 修	○活動内容 東京で開催された自治体議員向けの研修会に参加した。 1. 6 月 24 日 「1 期目議員のための議員活動新人研修」(地方議員研修会) 2. 7 月 20 日 「適正な議員定数の決定方法を考える」(廣瀬行政研究所) 3. 7 月 20 日 「適正な議員報酬の算定手法を考える」(〃) ○活動の実績と効果 1. 議員活動の基本として、市役所職員への聞き取りのコツや決算カードの活用などについて知見が得られた。 2. 「3.」とともに議会改革検討委員会での発言のための材料にできた。
広 報	○活動内容 SNS(マストドン・旧ツイッター・フェイスブック)による情報発信を行った。 ○活動の実績と効果 発信力があまりなかったためか、あまり手ごたえはなかった。
広 聴	○活動内容 1. 5 月 27 日 日本共産党岡谷市議団の広聴活動「市政を語る会」に同席 2. 2 月 17 日 〃 3. そのほか、地元区の行事に参加して市民との交流をはかった。 ○活動の実績と効果

	地元区の行事では給食費の無償化について市民の意見を聞くことができ、一般質問の材料とすることができた。
要請・陳情	○活動内容 1. 10月の定例会において日本共産党岡谷市議団の議員と共同で意見書「「トリガー条項」の凍結解除など燃料油価格の高騰への対処を求める意見書」および「現行の「健康保険証」廃止の延期を求める意見書」を提出 2. 3月の定例会において日本共産党岡谷市議団の議員と共同で意見書「ガザ地区における戦闘休止及び人質の即時解放に向けた取り組みを求める意見書」および「家族法制見直しの慎重かつ丁寧な議論及び検討に関する意見書」を提出 ○活動の実績と効果 1. 「「トリガー条項」の凍結解除など～」は本会議で可決、「現行の「健康保険証」～」は本会議で否決 2. 3月の定例会提出分はいずれも本会議で否決
その他	○活動内容 6月 定例会議案勉強会 講師 総務部長 会派 やまびこに同席 8月 定例会議案勉強会 〃 11月 定例会議案勉強会 〃 2月 定例会議案勉強会 〃 ○活動の実績と効果

【活動実績】

- 会派活動報告書は年度ごとにまとめ、年度当該年度の収支報告書の提出に合わせ議長に提出するものとする。
- 議長は、提出された会派活動報告書を収支報告書と同様に公開するものとする。